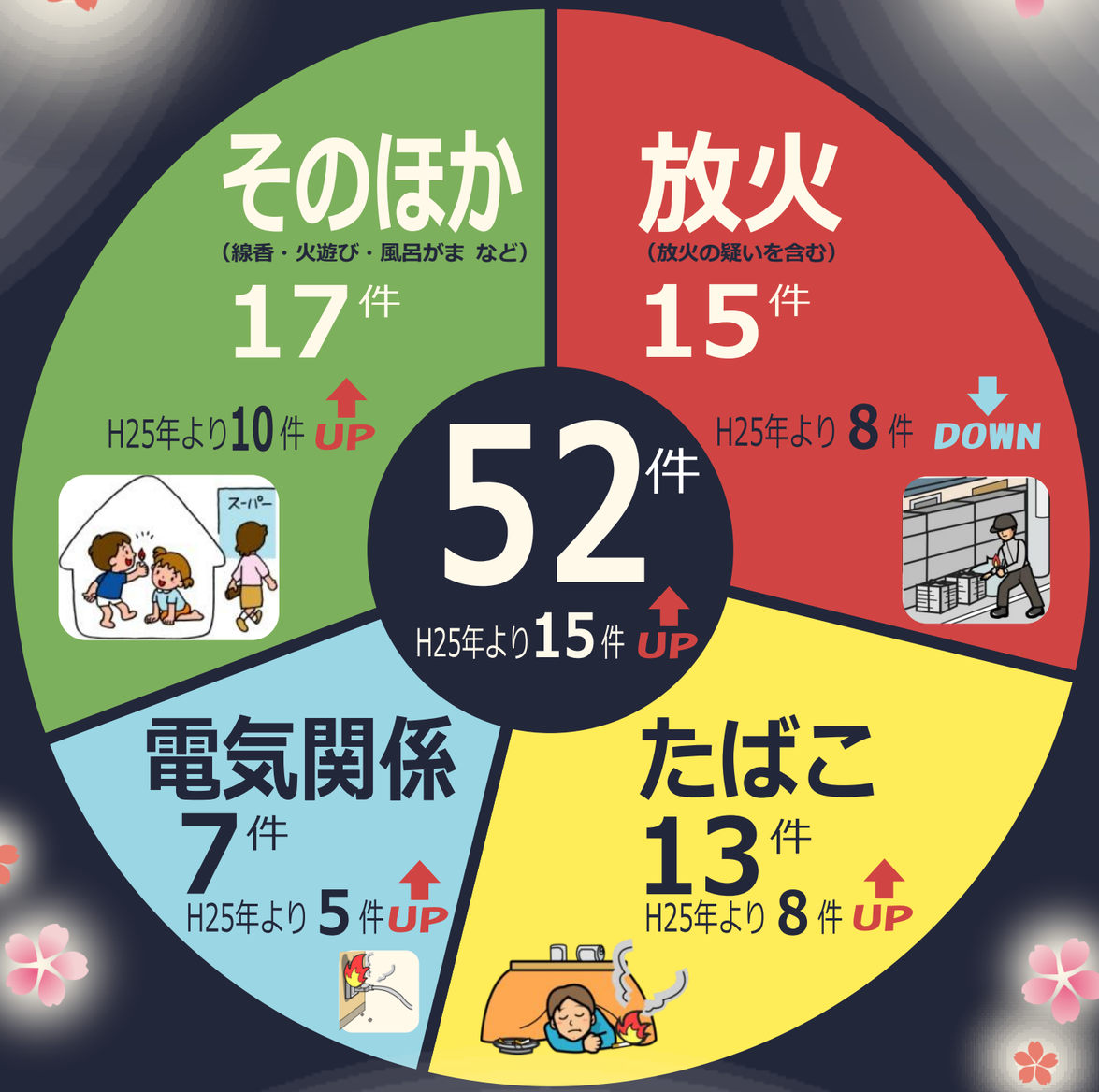
平成26年中の昭島市内の火災件数
― 出火原因別グラフ ―



住宅火災 24件／52件

住宅火災に ご注意を!

平成26年中の火災による
死者1名・傷者4名 は
すべて住宅火災から発生しました

― 住宅火災の出火原因 ―

第１位	たばこ	９件
第２位	電気関係	５件
第３位	放火	３件
	そのほか	７件

昭島市内の住宅火災の特徴は、出火原因の約６割を「たばこ」と「電気関係」が占めることです。
それぞれの対策により、住宅火災を防ぎましょう。

― 火災の早期発見のために ―
月に１回は住宅用火災警報器の点検を!

□ 警報器にホコリなど汚れはありませんか?
→ 火災を感知しにくくなります。固く絞った布でふくなどお手入れをしましょう。

□ テストをすると鳴りますか?
→ 取扱説明書のとおりテストをしても鳴らないときは、電池切れや故障が考えられます。交換のご検討を。

放火火災対策
- 家の周りは整理整頓し、燃えやすい物を置かない。
- ごみは決められた日の朝に出す。
- 車やバイクのボディーカバーは防炎製品を使う。

電気火災対策
- タコ足配線はしない。
- コンセントの周りを掃除する。
- 使用していない電気製品の差込みプラグはコンセントから抜いておく。
- 取扱説明書のとおり使用する。

たばこ火災対策
- 灰皿には水を入れ、吸い殻の火は確実に消す。
- 寝たばこは絶対にやめる。
- 吸い殻は他のごみとは別に捨てる。

そのほかの火災対策
- 火気使用中は目を離さない。
- ライターなどは子どもの手が届くところに置かない。
- 火の正しい取り扱いについて家族で話し合う。

枯草火災 10件／52件

枯草火災に ご注意を!

枯草火災は多摩川河川敷や空き地、公園などで発生しています。
春先は風が強いので、枯草火災から周辺の建物へ燃え広がる危険があります。
枯草火災の主な出火原因は、放火とたばこです。地域全体で放火されない環境づくりをするとともに、たばこのポイ捨ては絶対にやめましょう。

多摩川河川敷の枯草火災

スプレー缶などの使用・廃棄に ご注意を!

スプレー缶やカセットボンベなどは、正しい使用や廃棄をしなければ、火災や事故につながります。
使用するとき、廃棄するときは、次の点に注意してください。

- 使用前に必ず製品に記載されている注意書きを確認し、厨房器具や暖房器具などの付近では使用しないでください。
- 必ず中身を使い切りましょう。
- やむを得ず使い切らずに廃棄するときは、火気のない通気性の良い屋外で残りが無くなるまで噴射してからにしましょう。
- 昭島市の指定する廃棄方法を必ず守りましょう。